越波危険度予測システムのご紹介

日本気象協会では、沿岸地域における越波危険度予測情報の提供サービスを行っております。

越波危険度予測情報とは、波浪(波高・周期・波向) 及び潮位の予測値から算出される推定越波流量をもと に、沿岸地域における越波に対する危険度をお知らせ する予測情報です。

この情報は、海岸・港湾管理者、または道路管理者の 方々にご利用いただいております。



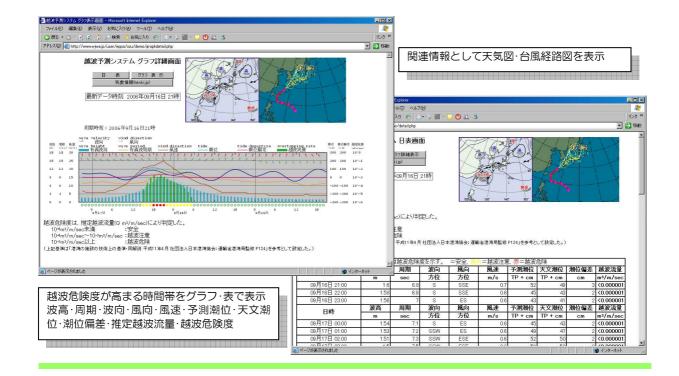
晴天でも越波が発生した例

このシステムでは、越波の危険性について気象情報をもとに客観的に判断するため、「現地は晴天でも越波が発生する事例(台風や低気圧が遠くに存在していて、波浪のうねり成分が沿岸に打ち寄せる場合など)」についても、越波危険性の情報を的確に取得することができます。

越波危険度について・・

- いつ頃から危険な状態になるか
- 危険な状態はいつまでつづくか
- どこが危険な状態となるか
- ・ どの程度危険な状態になるか 等・・

気象情報をもとに客観的に判断します。



越波危険度予測は、気象庁の数値予報データ(GPV)及び台風情報をもとに波浪・潮位の計算を行い、これらの予測結果をもとに求まる推定越波流量により越波危険度の判定を行います。

越波危険度予測情報は、インターネットを利用してご提供いたします。

越波危険度予測の流れ

